



2010/3/10開催・月例セミナー

クレジット投資の魅力

～信用供与メカニズムの構造問題と投資機会～

アンケート結果

HCアセットマネジメント株式会社



「セミナーテーマに関するアンケート」結果報告

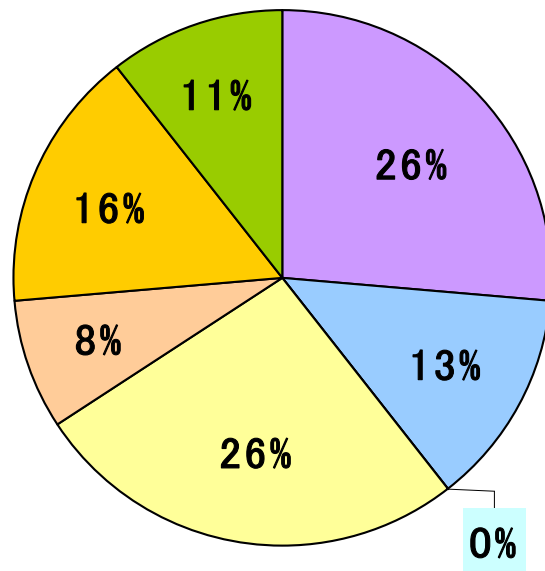
日本国債の信用リスクについてアンケートを実施。

- ・セミナー参加者人数 計45名
- ・アンケート回答者人数 計38名

回答率 ： 84%

※小数点第一位以下切捨

アンケートにご協力頂いた方の業種別割合



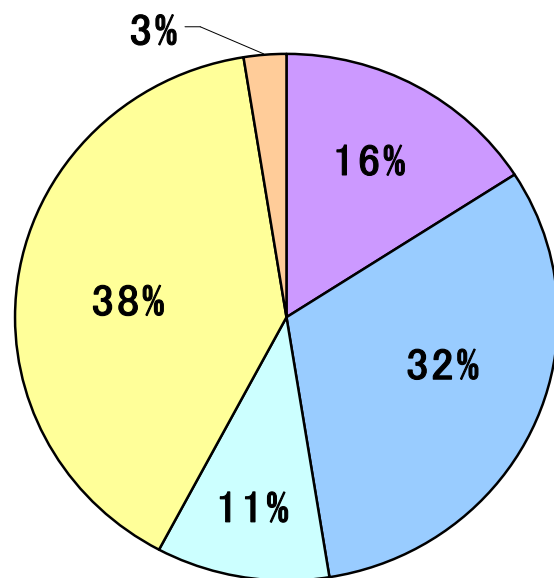
	人数
①	10
②	5
③	0
④	10
⑤	3
⑥	6
⑦	4
合計	38

- ①年金基金もしくは母体企業の資産運用管理者
- ②金融機関の自己資産運用担当者
- ③大学財団など、その他法人の資産運用担当者
- ④投資運用業者(信託銀行を含む)
- ⑤コンサルタント
- ⑥その他
- ⑦無回答

【その他の回答】

証券会社
修士生
第二種金融商品取引業者 社員
BISⅡ対応信用リスクに関連する情報収集だったが・・・

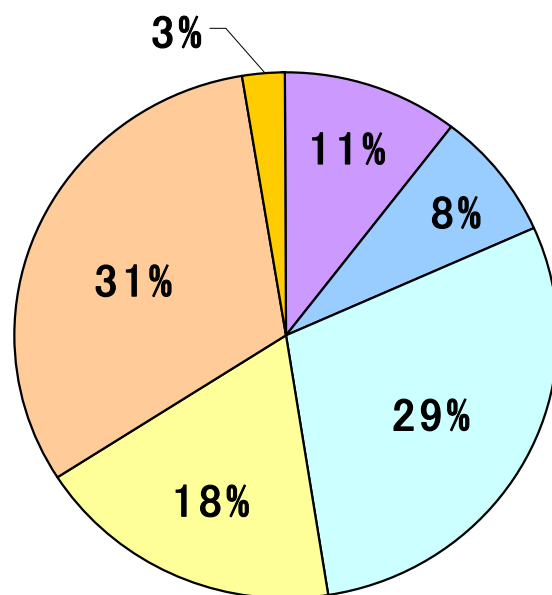
Q1 日本の国債の「信用リスク」について、どのように、お考えでしょうか。



	人数
①	6
②	12
③	4
④	15
⑤	1
合計	38

- ①そもそも、国債について信用リスクを論じることには、実益はない。
- ②理論的には、一定の信用リスクはあるが、実務上は、ないものと看做さざるを得ない。
- ③信用リスクがあるにしても、それは、利回りに合理的に反映しているはずだ。
- ④潜在的な信用リスクは、利回りに反映しておらず、投資対象として魅力がない。
- ⑤その他

Q2 もしも、日本国財務省がドル建ての国債を発行するとしたら、その利回りは、米国財務省証券との関係で、どのようになると予測されますか。



	人数
①	4
②	3
③	11
④	7
⑤	12
⑥	1
合計	38

- ①日本国債の方が低い。
- ②ほぼ同等になる。
- ③0.5%程度高くなる。
- ④1.0%程度高くなる。
- ⑤1.0%以上も高くなる。
- ⑥無回答